



# 廣 西 の 教 業

洪 耀 動

## 一、根 本 方 針

廣西は民國十五年以前所謂舊軍閥の統治下に於いては教育といは

れらる程のものなく、たゞ舊式の書房或はそれに些か改良を加へた

ものに過ぎなかつたが、民國十五年以後政治が漸く軌道に乗るやう

になつてから教育重要視の機運が醸成され、十七年に至つて教育は

政治上に於いても相當の位置を占めるやうになつた。かくして教育

の經費は全省の總收入二千二百餘萬元の内三百餘萬元に上り、學校

は量は無論のこと質に於いても共に迅速に増加充實をみた。廣西大

學は實にこの時に成立したものである。

不幸にして民國十八年に愈李の亂が起つて、漸く芽生えた教育の

嫩芽もまたその爲めに枯萎せざるを得なかつた。この後廣西の天地

は内亂のために一日として寧日なく、社會の秩序は失はれ民衆は殺戮と掠奪に曝されて生命財産さへ自ら保有する能はざる有様にあつたから教育の如きは推して知るべき貧弱な狀態にあつた。

民國二十年から政局がまた統一され、教育其他一切の建設は同時に新に其の端緒に就くやうになつた。廣西實力派巨頭李宗仁と白崇禧の名コンビを得て模範省廣西省の建設をなすべく、こゝに省政府は何事によらず據るべき一定の施政方針の必要なるを痛感し、こと

にその社會状況と需要に適應せるものに力を致すべき悟つた。そこで孫文の三民主義に根據し更に廣西の社會状況と其の需要を斟酌して一般の施政をなしたのである。而して教育施政に關する主な

網領が決定されたのは二十年七月の軍政會議に於いてであつた。二十一年七月多少の修正を経て正式に公佈されたのが次の如き十條

# — 西の教育 —

である。

- (一) 教育設施は實事を注重して是を求むべし。並に政治經濟建設の基本工作たらしむべし。
- (二) 社會教育は民衆教育を注重推廣すべし。
- (三) 初等教育は普及を以て主となすべし、施設は務めて簡易適用より始め、最も鄉村教育を注重すべし。
- (四) 初級中學は地方の需要及び國民經濟の狀況を視て施設の標準とすべし、高級中學は改進充實を以て主となすべく數量の増加に汲々せざるべし。
- (五) 師範教育は逐次に其れを獨立設置たらしむべく、並に極量鄉村教育の師を培養すべし。
- (六) 職業教育は農業教育及び省内需要の工業教育を注重し、並に須らく職業界と切實に聯絡すべし。
- (七) 女子教育は積極的に職業學校の設置をなすべく、並に生活改善の知能の養成及び母性的特質の保持に注意すべし。
- (八) 高等教育は先づ專科の設置より始まり、應用科學を授けて専門の養成をなすべし。
- (九) 學校の訓育は學生の樸實的、勞動的、紀律的、團體的習慣の養成を重んすべし。
- (十) 教育經費算算を別用に移す能はざるを保障し並に逐年其の増加を力求すべし。

上に掲げた綱領は實に事變直前までの廣西省の教育方針及び教育施設の準則をなものであるが、しかしこれによつて所謂訓政時期に於ける支那一般の社會の要求と其の用意を看取するに難くないであらう。蓋し訓政時代所期の目的達到の能否は一に教育が充分に其の職能を果しうるか否かに係るものがあるからである。そこで廣西省の當局は省の經濟狀態や民度及びその社會の需要に適應した切實な教育方針を定めたのである。

支那は民主國を標榜してゐる國柄であるが、しかし民主國の主體は人民になければならぬのに、大多數のものは教育を受けてゐない爲め自己の國の主人公たるを知らず、従つて主人公の職權を行使しえない。故に少數の野心を抱ける梟雄怪傑に威を逞らせしめ專横の機會を與へざるをえなかつた。支那の擾亂の原因は實にこゝにある。此れから看て教育の着眼すべき點もこゝにあると言はねばならぬ。

其の次支那の最大の禍患は貧窮である。支那大衆が、廣大豊富な資源と多量の労力を擁しながら困窮せねばならぬ根本原因は何であるか。その大半は民衆が職業の知識と技術をもたないためである。個人方面から看し糊口の工具なく、社會の方面より言つて富源開發の人物がない。かくの如く國が貧窮し、民が困窮すれば大多數の人が學問する機會に恵まれること少いのは當然である。この點、また教育施設の意を用ふべき所である。

更に次には、現實の支那は訓政時期にはいつたとはいふものよ。

その實地革命の時期を出でない。孫文の遺囑にある通り、革命の貫徹を除きて支那民族を救ひ出す血路はないと信するのが支那指導者の信念である。然し大半の民衆は革命の意義を認識することが出来ず、従つて革命家と一緒になつて革命工作に協力することは望まれない。大衆は革命の意義を理解せしめ、その理解者協力者を造ることはまた教育に依らねばならぬことも一般教育施政當局の着目するところである。

廣西の最近十年近くの教育は上述の事實に着眼し、省の實情に即した教育を施行して來たのであるが、しかし一九三六年の胡漢民の死と共に始まる西南派の敗退、即ち蔣政權の中央統一がなされた後は、省教育が國民黨の勢力扶植及び抗日教育の方向に轉ぜられるやうになつたことはまた勢必至如何とも致し方なかつた事情にあつた。而して今日の西南實力派の巨頭連の地盤失墜のプロローグは今にして思へばこの時に用意されてゐたのである。

## 二、教育行政

廣西省の教育行政は省教育機關としては教育廳があり、地方のそれには教育局があることは、西南派が政治的に中央と抗争し來つたのとは稍々趣きを異にし、廣西省の教育諸設は比較的近年に屬する關係上大體に於いて教育部令に準據して行はれた。

(イ) 省教育行政機關 教育廳の下に三科を設け公文書及び其他各項の事務を掌握せしめてゐる。教育計畫、教育規章方案及び教育統計報告、材料編譯等の仕事は別に教育設計委員會に委ねられてゐる。而して教育設計委員會は、秘書科長、省督學、專門視察員、技士等の當然委員と、教育に關して研究或は經驗に富む者にして廳長によつて延聘された聘任委員とによつて組織されたものである。

(ロ) 地方教育行政機關 各縣には教育局を設け、其の經費は一部省庫より補助を受けることになつてゐる。教育局には凡そ二課を設けることが出来る。第一課は教育行政の事柄を、第二課は學校教育の事柄を、第三課は社會教育の事柄を掌理する。

この外特に縣市教育局は當縣の教育行政を掌るところの教育委員會を組織しうる。而して教育委員會は當然委員、聘任委員によつて組織されてゐる點は省と共通である。

## 三、軍訓辨法

吾々が廣西教育を論ずる場合、軍事訓練を度外視し得ない程に、それは新廣西建設にとつては言ふまでもなく、國防上に於いても極めて重要性をもつてゐることに氣付くであらう。今その辨法に就いて略述することにする。

(イ) 高中の軍事訓練 高中以上は軍事訓練を施さねばならぬとは國民政府教育部の規定するところである。滿洲事變以後軍訓は一般

人の注意するところであるが、元來支那の學生は散漫にして綿りなく、一旦嚴格な軍事訓練を施さうとする往々にして幾多の問題を發生し勝ちであった。そこで廣西の當局は特にこゝに留意し、

内容も積極的に研究改善されてゐる。

在來の軍訓の失敗の原因は、校内に於いて僅か幾時間の軍訓の科目を設けるに止まり、また軍隊組織と軍人訓練を採用せぬためである

となし、生活の中に軍事訓練を受ける方法を實施した。白崇禧は嘗て學生に向つて次の如き演説をなしたことがある。「從前軍事訓

練はたゞ外面上にとどまり、實際上少しも效果はなかつた……此後の辦法は、高中の學生は特に軍事上の科目のみならず學術の各科に

わたり積極的訓練を加へる必要がある。即ち學生の一切行動は皆軍隊管理方法で以てなし、學生生活をして軍隊化せしめ、學生行動をして規律化せしめなければならぬ」。

廣西の高中が他省に比してかくの如き厳格な軍訓を實施した外の原因と看られる點は、廣西が積極的に民團を訓練するには非常に多くの軍事人材を必要とするから高中卒業生をして民團訓練の將校たらしめる考慮したからである。

高中の軍訓は初めは教育廳の直接管理であつたが、現在は司令部と教育廳との共同管理に移つており、學生の制服と使用する軍具は一切軍司令部の發給である。

(口) 初中及び小學校の童軍訓練の中、初中の童軍訓練は強制的に皆にやらせてゐる。現在廣西省内の童軍は既に行き渡つてゐてその

#### 四、高等教 育

廣西の高等教育機關には廣西大學、法政專門學校、師範專科學校の三校しかないものであるが、この外省外に留學生を派遣することによつて其の目的の一半に達してゐる。

(イ) 廣西大學 廣西省は一千二百萬の人口と三百餘萬方里的土地を擁してゐるが、田野は開かれず森林は茂らず、工業は興らず、礦產は探掘されず、交通不便、財貨富まないといふ貧弱さを以てこの廿世紀に及んだ。そこで新廣西建設の當路者か、科學的知識と技術との吸收普及及び應用によつて、即ち歐米諸文明國の種々なる利器と方法によつて農、工、鐵、交通等の開發經營の基礎を置かんとして設けられたのが廣西大學である。廣西大學は民國十七年の秋梧州對岸鰐螺山に創設されたのであるが、一年も経ずして俞李の亂にあつて其の機能を中斷された。二十年の夏に省局統一政府は馬君武を校長に迎へ、それを恢復せしめた。この大學の宗旨は廣西の實科人材の養成にあるのであるから、理科、農科、工科、礦科が設置されたのである。所謂理、農、工の三學院であつて、その要旨は、實用の科學に適するを以て基礎となし、三民主義國家建設の人材を造成するを以て目的とするにある。近頃(民國十年以後)省の青年にして笈を負ふて他省に遊學するもの漸く増加を見るに到つたが、多くは

私立諸大學に入學してゐる。然るに此等私立大學は經費の關係上多くは經費のかゝらない法、政、文、商、教育等の如き精神諸科學が主となつて實驗觀察を主とする所の、從つて實驗設備に莫大の費用を必要とする自然諸學科は忽せにされ勝ちである。實驗設備なき又は不完全な、物質に關する學科は自然空論に終らざるを得ない。廣西大學の設立は、實に省内の専門知識に志ある青年に、かゝる求學は必ずしも遠遊する要なきを知らしむるためにもあつたのである。

(ロ) 法政專門學校 法政專門學校は桂林に設けられてある。法律科、政治經濟科より成り、各科各學年の學生は百餘人を算してゐる。

(ハ) 師範專科學校 師範專科學校は民國二十一年度に桂林興農花園に新設されたものである。この創設は省府當局か、廣西の鄉村小學校の改造と發展には大量の人材の必要なるに鑒みたのに因る。從前之の師範學校、或は高中の師範科、師範講習所等の卒業生は數に於いて少いのみならず、まだ鄉村や社會の改造及び發展の爲めの教育的訓練を受けて居らず、大多數は鄉村に行くを好まず、假りに往つても目前の社會の需要に適應することができない状態にある。爰に地方の需要の緩急に因つて次第に各縣に鄉村師範學校を成立して、鄉村の教育條件を處理してゆくに適合した人物を養成する必要がある。理想的な鄉村師範は普通の師範學校とは實に異つてゐるから、この鄉村教育同時の爲めに先づこの師範專科を設立する運びとなつた。

## (二) 留學生派出

廣西省費による國外留學生と自費留學生との二種類がある。近年金の暴騰のため自費留學生の中、學費が續かないで國に歸るものが多くなつた。そこで省の當路は自費留學生にして著名な大學及び專門學校にて修業滿一箇年のものは、その優秀なものに省費を補助してその學業成就を計つた。ところが滿洲事變以後本省留學生は愛國熱に浮かされて歸國するもの多く、また省は廣西省費の留日學生に歐米各國に轉學することを許した。殊に支那事變後留日學生及び此度の戰區となつた省外留學生は廣西大學、法政專門及び省立各中等學校に分けて收容した。

## 五、中 等 教 育

全省中等學校狀況表

類 別	校 數	教職員	男 生	女 生	男 女 生 合 計	經 費 人
省立高級中學	四	二二五	一,105	一一七	一,520	三万零九十一
省立初級中學	二二	四四四	四六八	二七九	九四一	五万六千六百
省立女子初級中學	四	一三八	一	九四一	九四一	一六六六八
縣立初級中學	四三	一〇一	九六三	六五四	一〇三四六	八八六五
縣立女子初級中學	一	一四	一	九〇	九〇	八二八

縣立職業學校	二	三九	一一一	一五	一三六	三七七四四
縣立師範講習所	二九	一六四	一五九三三	六八	一、六六〇	九六六四四
合計	一〇八	一六一四	三〇一、一四四	三三三六六	三一七九〇	三一六六六七二
合						

## 六、初等教育

廣西の初等教育は義務教育を普及するを其の眼目とし、その目標と期限が定められてある。各縣を督促して自治區劃に依つて學區を分け、毎區には教育委員を設けしめた。この教育委員は鄉村教育の中心人物であり、義務教育普及の基礎工作の重任を帯びてゐる。各區の教育事業の規劃と改進は教育局内の人だけに委せることはあまり力を有たないから、須らく各區の委員に責任をもたせて初めて實際の効績をあげられるのである。學區が分けられて後校區が劃定されねばならぬ。校區は地方教育行政の單位をなすもので、幾つかの小村或は大村を合せて成つてゐる。交通が不便であるから先づ區を劃して學校を作ることから着手せねばならぬ。校區が定まれば各學區を督促して校區學董會を組織せしめ、各區の教育事務をとらせらる。學董會は一面地を擇んで學校を設け、他面校區内各村の學齡兒童を調査し、以て設けるべき級數を定める。

全省各級小學校狀況表

類別	校數	教職員	男生	女生	男女生	合計	經費
高級小學校	一、〇九〇	五五三三	一五、六六九	二、五五七	一七、二二六	一、二六三三	一八、一〇、四五
女子高級小學校	三三	三一〇	一	六九四八	六、九四八	一一五、九七七	
合							

初級小學校	一〇、六〇八	一六〇三二	三二四、五六一	三一六、一	一〇、五七九	三一六、一五五
女子初級小學校	三六	九一	一	一、二九三	一、二九三	一、二九三
幼稚園	六	一四	三三五	一〇八	八〇	八〇
合計	一一九、三三	三三九、九〇	三九〇、五六二	三一七、一九二	三一七、一九二	三一七、一九二
合						

## 七、國民基礎教育

廣西省政府は國民教育を實施して民衆を喚起する爲め、曾つて國民基礎教育五年計畫大綱を公布施行したが、この大綱に不備の點があつたので二十三年十月二十五日省府委員會第百五十二次會議の時修正を提出して該會議を通過した。五年計畫は六年計畫に改められた。その大綱の要點は次の如し。

### (イ) 主旨

(一) 政治的力量を以て主となし、經濟的効力及び社會的力量を以て輔となし、六年の内に全省國民基礎教育を普及する。

(二) 國民基礎教育の力量を以て本省下列の各項建設を助成する。

- (1) 政治建設
- (2) 經濟建設
- (3) 文化建設
- (4) 社會建設

### (ロ) 方法

(一) 全省の有志青年を指導して夫々所屬の田園、商店、工廠に歸らしめる。——學問と勞動との合作方法である。

(二) 全省の兒童及び成年民衆を指導して政府に協助せしめ、鄉村建設運動及び民族復興運動を造る。——學問勞動と政治合作の方法である。

(八) 工作 國民基礎教育は兒童教育と成人教育とに分たれる。

(一) 兒童教育、八歳から十二歳までの兒童は二年間の國民基礎教

育を受けなければならぬ。十三歳から十六歳までの失學兒童は一年間の短期國民基礎教育を受けねばならぬ。

(二) 成人教育は識字教育を補充し、民團訓練を推進し、鄉村の組織を完密にする。

上述の種々の合作運動や工作的實施は國民基礎學校が其の中心機關となるのである。

民國二十二年十月から二十三年一月の間は廣西の國民基礎教育研究院籌備成立の期間であり、二十四年二月以前は國民基礎教育研

究區及び國民基礎學校成立の期間であり、二十五年七月以前は全省各

村國民基礎學校普遍設立の期間であり、二十六年七月以前は各鄉中

心國民基礎學校普遍設立の期間であり、二十七年七月以前は、一學年期間の短期國民基礎完成の時期であり、二十八年七月以前は二學年期間の國民基礎教育完成の時期であり、二九年七月以前は全省村鄉建設初步工作完成の時期である。かくの如き豫定は支那事變のため恐らく廿六年七月以後の分は中止され、寧ろ抗日救國の國防工作に民衆は總動員されてゐるであらう。

## 九、學生自治會

省政府は眞正の民主政治は大多數の健全なる民衆の上に建てらるべきに鑒み、失學兒童や、金錢、職業の關係上まだ教育を受けてゐない民衆のために、社會教育を以て補救する方法を講じてゐる。社會教育の工作は工讀學校、民衆學校、圖書館、體育場、講演所等に

分たれる。廣西省政府は全省の壯丁に軍事訓練を施行し、教育廳もまたこの機會を利用して民衆識字教育を擴めたり、民衆基礎讀本を分給したりする。この軍事訓練を受けるべき一期六個月の間に全省の壯丁十四萬四千名が民衆教育を受けることになる。また現有の學校を利用することによる事半功倍の効果ある方法を實行してゐる。廣西の中小學校は一萬二三千所以上あるからこれに附設した民衆學校の教育による文盲減少率は年に八十八萬人を算すると言はれる。

滿洲事變以後の「抗日救國」の工作がこの社會教育を通じて熾烈旺盛に行はれたと言はれるが、廣東を失つた今日、廣西の積極的教育が廣西を死守せねばならぬ蔣政權に對して果して幾莫の貢獻をなしうるであらうか。

蔣政權は南京に據つて支那全土に號するやうになつてから、三民主義的國家建設と民族の獨立の恢復とを標榜して全國各地に自黨勢力扶植の黨部を配置した。而して學生の自治工作を指導すると稱して廣西省の黨部執行委員會は、中等學校學生自治會會員をして國家、民族、社會、政治、經濟、文化等の諸問題に對して深き研究と理解を有たしめ、學生の宣傳技能の養成と合作事業知識を培植する考へから特に廣西中等學校學生自治會をして黨義研究會、講演會、及び合作社を組織せしめた。この學生自治會員によつて組織された黨義研究會、講演會、及び合作社の活動は頗る活潑であつたが、殊に事變後彼等の所謂抗日建國の諸工作の線に於ける活潑には目ざましいものがあると思はれる今日、それは没落しゆく蔣政權の延引にとつてある意味をもつものであらうか。